

令和2年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

- 発展的な課題に挑む力の育成
- 基礎学力の確実な定着
- 粘り強く取り組む子どもの育成

【学校 目標】

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- アクティブラーニングの視点とカリキュラムマネジメントを連動させた授業改善

【現状と課題】

- 次期学習指導要領の全面实施に向けて、「研究授業」「研究協議会」を通して授業改善を進め、教科指導力の向上に努めている。その結果、生徒が自ら学び自ら考え、課題を解決する力が高まっている。
- 深い学びを実現し、生徒一人ひとりが学習内容を確実に定着できるよう、基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力をさらに育成する。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○教員の豊かな人間性と専門的な知識・技術や幅広い教養を基盤とする実践的な教科指導力を培うため、校内研修、教科部会を充実させ、絶えず見直して授業改善を図る。 ○目当てと場合によっては学習過程をわかりやすく示し、「見通し」を持たせる。	【取組事項】 ○学習規律「学びのきまり」を年度初めに生徒自身に考えさせ、生徒全員がきまりを共通理解し意識しながら授業に参加できるようにする。 ○「根拠を明らかにし筋道を立てて話し合う力」「自分なりのことばで表現する力」を育むため、「コ」の字型、4人班、板書型協働学習等を効果的に設定する。	【取組事項】 ○校長のリーダーシップにより学校の教育力・組織力を高めるための目標「ひとを大切に ひとつを大切に」を掲げ、教員一人ひとりが目標の具現化に向けた個人目標を設定し、実践的な指導力を高める。 ○家庭・地域・学校が相互に連携・協働できる「チームとしての学校づくり」を進める。

その他 取組事項

- 「インクルーシブ教育」を一層充実させるために「基礎的環境整備」「合理的配慮」等の研修会を推進する。
- 組織的・計画的な教育の質的向上を図る「カリキュラム・マネジメント」を確立する。

取組の評価

視点	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
1	実践的な教科指導力の向上	授業実践の分析と授業改善の成果、全教職員による毎月の評価シート(10段階)		
1	授業展開「学習スタイル」の工夫	生徒の「自己評価シート」、全教職員による毎月の評価シート(10段階)		
2	「学びのきまり」の確立と継続	教員の「授業記録」、「参観記録」全教職員による毎月の評価シート(10段階)		
2	「話す力」の育成	生徒アンケート結果、全教職員による毎月の評価シート(10段階)		
3	「ひとを大切に ひとつを大切に」の具現化	教員一人ひとりの「具現化目標」達成率、全教職員による毎月の評価シート(10段階)		
3	家庭・地域・学校の相互連携・協働の確立	コミュニティ・スクールでの意見・要望、保護者アンケート結果、全教職員による毎月の評価シート(10段階)		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上89%未満→B 70%未満→C 時期→1回目9月 2回目2月】

今年度の課題	次年度への対応策